

令和05年度 第1回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年06月16日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 大崎警察署 講堂  
出席者 協議会委員 6名  
署長ほか 5名

内 容

会議に先立ち、会長・副会長を互選した。  
また、交通課長、生活安全課長、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 本年の交通事故発生状況について
  - (1) 都内の交通人身事故発生件数  
昨年よりやや増加しているが、死者数は減少している。
  - (2) 当署管内の交通人身事故発生件数  
都内同様増加しているが、交通安全協会・母の会・PTA・町会等の絶大な協力を得て、交通死亡事故は5年連続ゼロを達成した。
  - (3) 「6年連続死亡事故ゼロ」に向けた重点的対策  
ア 自転車利用者の事故が多い現状を鑑み、ヘルメット着用義務化を広報啓発  
イ 電動キックボード、ペダル付原動機付自転車(モベット)の違反取締り
  - (4) 安全・安心で快適な交通社会の実現  
「世界一の交通安全都市TOKYOを目指して」各種対策に取り組んでいく。
- 2 本年の犯罪発生・検挙状況について
  - (1) 指定重点犯罪発生件数  
昨年同期比で減少傾向にある。
  - (2) アポ電強盗  
管内での発生はないが、重点的な対策を実施している。
  - (3) 当署の検挙  
ア 強制わいせつ被疑者の検挙(4月上旬発生)  
イ 偽装結婚詐欺被疑者の逮捕(5月下旬、報道発表あり)  
今後も「検挙すること」によって、管内の治安維持に努めていく。
- 3 今後の取組について
  - (1) 関係機関との連携
  - (2) 積極的な広報活動
  - (3) 挙署一体で全力の検挙活動  
により、指定重点犯罪抑止及び交通安全対策等を一層推進していく。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 「大崎警察署トリプルストップイベント」について  
ア 令和5年5月25日、アトレ目黒2敷地内で実施  
イ 闇バイト・痴漢・自転車重傷事故の3つの防止をアピール  
ウ 管内企業の協力を得て、また、俳優を一日警察署長に迎えて盛大に実施
  - (2) 交通安全対策の推進について  
ア 「大崎さくらフェスタ」の開催(4月1日)  
(ア) 道路交通法の改正にあわせた啓発活動  
(イ) ヘルメット着用の重要性や必要性を周知するイベント  
(ウ) 交通安全協会、交通少年団、自転車関連団体の協力を得て開催  
(エ) 五反田ふれあい水辺広場にて、  
・ 白バイ、パトカーの乗車体験  
・ 自転車用ヘルメットの展示  
・ 交通安全クイズラリー  
・ チラシの配付  
イ 「令和5年春の全国交通安全運動」  
(ア) 重点的な取組  
「自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底」  
(イ) 広報啓発活動  
管内企業の協力を得て積極的に推進

- (3) G7広島サミット警備に伴う取組について
  - ア G7広島サミット  
5月19～21日に開催
  - イ 当署勤務員が従事した活動  
重要防護施設警戒、空港警戒、駅警戒、列車警乗、ホテル対策警戒、高速道路  
ランプ対策警戒等
  - ウ 警備の完遂  
大きなトラブルもなく、警察として責任を果たすことができた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 自転車乗車時のヘルメット着用努力義務化について周知するため、署員が一体となつて、様々なイベントや啓発活動に取り組んでいることが分かった。
  - (2) 協議会委員も、地域住民に対して、町会や集会等の様々な機会に発信し、全ての年代の人にヘルメット着用を浸透させていきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 今回の会議で、警察が日頃から管内企業や団体と連携・協働して、地域の治安維持に当たっていることが分かった。
- 2 警察職員が都民を守るために心身を鍛え、技術を高めていることを知ったので、今後も各種訓練に励み、警察力の確保と強化に努めてほしい。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第4回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和05年03月17日 午後04時00分～午後05時05分

開催場所	大崎警察署 講堂	出席者	協議会委員 6名 署長ほか 4名
------	----------	-----	---------------------

内容

会議に先立ち、生活安全課長、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故関係について  
 本年の都内における交通人身事故発生件数、及び死者数は、やや減少傾向にある。当署管内においては、人身事故はやや増加しているものの、交通死亡事故にあっては、「5年連続死亡事故ゼロ」を更新中であり、先日、5年連続死亡事故ゼロを達成し、交通部長賞を受賞した。  
 これもひとえに、交通安全協会・母の会・PTA・各町会の方々を中心に交通整理や自転車利用者の交通マナー向上に努めていただいた結果である。  
 都内では、自転車利用者の事故が多く、このような現場を踏まえ、当署では、「6年連続死亡事故ゼロ」を目指し、交通法規の遵守の呼び掛け、ペダル付原動機付自転車（モペット）の取締り、4月1日から改正道路交通法の施行により自転車利用者のヘルメット着用義務化の啓発活動を推進し、安全・安心で快適な交通社会実現のために各種対策に取り組んでいく旨を説明した。
- 2 犯罪抑止対策について  
 当署の指定重点犯罪発生件数は、昨年同期比では減少しており、このまま減少傾向を維持していきたい。現在、新聞等で多数報道されているアポ電強盗事件は、当署の発生は未だないが、同種事案の発生抑止に取り組んでいる。  
 当署では、特殊詐欺被疑者を検挙し、現在も余罪を含め捜査をしている。  
 その他、女性警察官が職務質問により麻薬及び向精神薬取締法違反被疑者を逮捕するなど、管内の治安維持に努めている。
- 3 今後の取組について  
 当署では、今後も交通安全対策及び指定重点犯罪の抑止等を強力に推進し、関係機関との連携や広報啓発活動を行うほか、管内の治安維持に向けた検挙活動にも全力で取り組んでいく。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 当署管内特殊詐欺発生状況と五反田地区環境浄化の取組みについて  
 当署の特殊詐欺の発生件数やアポ電件数は、昨年比でやや増加傾向にある。その対策として、当署が作成した詐欺被害に遭わないためのチラシを町会の方々と合同パトロールをしながらポスティングする防犯活動を実施した。  
 その他の対策として、以前特殊詐欺被害に遭われた被害者宅等に「警戒強化中」と記載されたステッカーを貼付するとともに、電話機に自動通話録音機等を設置した。  
 五反田地区環境浄化では、品川区役所の職員との歓楽街合同パトロールの実施、当署生活安全課員による管内風俗店店舗への立入りを実施した。  
 地域住民が、安心して楽しめる歓楽街を目指して、今後も犯罪抑止対策を推進していく。
  - (2) 令和4年TOKYO交通安全キャンペーンについて  
 昨年（令和4年）12月6日に当署管内のJR五反田駅前において、当署交通安全協会女性部の皆様の協力を得て、都民に交通安全の思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけるとともに、都民自身による道路環境の改善に向けた取組を推進した。
  - (3) 交通部長賞の受賞について  
 当署管内において、平成30年1月6日に死亡事故が発生した。それ以降、管内の重大交通事故防止対策を講じ、本年1月6日までの5年間、交通死亡事故ゼロを達成することができた。  
 これは、警察職員のみの方では達成できるものではなく、管内協力団体の及び住民の皆様に協力していただき、交通安全の輪を広げていただいた結果、交通部長賞を受賞できた。
  - (4) 自転車用ヘルメット着用の推進について

本年4月1日から、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用を努力義務化する改正道路交通法が施行される。

そのため、警察職員が自転車用ヘルメットを着用することにより、自らの安全を確保するとともに、都民の皆様に模範となる自転車の乗り方を示し、自転車用ヘルメットの着用促進を図っている。

(5) 令和五年武道始式について

3年ぶりに当署において、令和五年武道始式を開催した。

武道始式は、警察武道の発展と署員の士気の高揚を図るとともに、平素の鍛錬の成果を管内住民の方に披露することにより、警察に対するより一層の理解と協力をいただくために実施した。

2 警察署協議会からの意見要望等

今回の説明で、警察の方が日頃から地域住民の方の安全のために各種取組や啓発活動を行っていること、また、都民を守るために心身を鍛え、技術を高めていることがよくわかった。今後も、警察職員の方には、各種訓練に取り組んでいただき、警察力の強化に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第3回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時	令和04年12月19日 午後04時00分～午後05時10分		
開催場所	大崎警察署 講堂	出席者	協議会委員 5名 署長ほか 5名

内容

会議に先立ち、交通課長、刑事組織犯罪対策課長、防犯係長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況について  
 本年の都内における交通人身事故発生件数は、やや増加傾向にある。当署管内においても、同様に昨年より増加しているが、交通死亡事故にあっては、いまだに「4年連続死亡事故ゼロ」を更新中である。近時、警視庁管内全体としては、自転車乗車中の単独事故や交通違反から事故につながるケースも多く発生している。  
 こうした現況を踏まえ、当署では、「5年連続死亡事故ゼロ」を目指し、自転車利用者による交通法規の遵守の呼び掛け及びペダル付原動機自転車（モペット）の取締りを強化し、安全で快適な交通社会の実現のため各種対策に取り組んでいく旨を説明した。
- 2 当署管内の犯罪抑止対策及び検挙事例について  
 本年中の指定重点犯罪発生件数は去年同期比よりやや増加しているが、特殊詐欺や侵入窃盗被疑者の検挙件数は向上している。  
 特殊詐欺事件では、受け子犯人を逮捕し、回収役や指示役の犯人も逮捕した。現在も余罪を含め捜査している。また、侵入窃盗事件では、現場に残された証拠品等から犯人を割り出し検挙した。
- 3 当署の今後の取組について  
 当署では、今後も指定重点犯罪の抑止及び交通安全対策など、今まで以上に関係機関との連携や広報活動等の犯罪抑止対策を推進するとともに、検挙活動に全力で取り組んでいく。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) ペダル付原動機付自転車（モペット）の概要及び自転車利用講習会について  
 当署管内において、本年6月中旬に、ペダル付原動機付自転車が発した交通人身事故が発生し、ペダル付原動機付自転車の危険性が顕著となった。そのため、重大交通事故に発展する可能性が懸念されることから、ペダル付原動機付自転車の取締りを強化していくこととした。  
 また、本年10月26日（水）に当署において、東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部総合推進課主催による「令和4年度第1回自転車安全利用講習会」を実施し、年齢65歳以上の方を対象に自転車に乗る際の注意事項や自転車シミュレータ体験を行い、安全に自転車に乗るための講習が行われた。
  - (2) ストップ特殊詐欺被害ゼロキャンペーンについて  
 管内企業の協力により、特殊詐欺被害防止施策の一つとして、全国初の定期預金「ストップ特殊詐欺被害ゼロ預金」が創設された。また、令和4年9月8日、JR大崎駅南口改札前夢さん橋において、大崎警察署一日署長として俳優を委嘱し、特殊詐欺被害防止や新設預金の広報キャンペーンを実施した。
  - (3) 品川区安全のつどいについて  
 令和4年10月6日、品川区立荏原文化センターにおいて、フリーアナウンサーを大崎警察署一日署長として招き、司会を務めていただいた。「特殊詐欺被害防止公演」では、劇団が実際に遭った特殊詐欺被害の状況を分かりやすく伝え、「落語公演」では、落語家をゲストに迎え、地域の安全を呼び掛けた。
  - (4) 薬物事件の現況について  
 本年5月に当署管内のJR五反田駅前において、当署の勤務員の職務質問を端緒として覚醒剤取締法違反被疑者を逮捕した。その後も捜査を進め売人も検挙した。  
 違法薬物は東京のみならず全国的に蔓延している状況である。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 管内の重大交通事故に発展する可能性がある、ペダル付原動機付自転車概要について理解できた。また、取締りを強化してただき、歩行者も安全に通行できると思う。今後は電動キックボードの取締りにも強化していただきたい。

- (2) 平素の管内企業との交流により、全国初の定期預金「ストップ特殊詐欺被害ゼロ預金」の新設など、特殊詐欺の被害者を出さないようにするための警察の様々な取組がいかに重要であるかよく理解できた。
- (3) 薬物事案では、管内が狭いながらも五反田、目黒といった繁華街を有しており、他所から薬物犯罪者が流入してくることも懸念されることから、繁華街等での不審者への声掛け等を引き続き、強化してほしい。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和04年度 第2回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年09月16日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 大崎警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 5名

内容

会議に先立ち、地域課長、生活安全課長、警備課長代理の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 秋の全国交通安全運動の実施について  
本年9月21日(水)から30日(金)までの間、秋の全国交通安全運動の実施に伴い、地域住民の皆様の協力を得ながら、交通事故を1件でも減らすため官民一体となった各種活動を実施する旨を説明した。
- 2 交通事故発生状況について  
本年8月末現在の当署管内における交通人身事故発生件数は、やや増加傾向にあるが、交通死亡事故にあっては「4年連続死亡事故ゼロ」を更新中である。当署管内の現況としては、自動車の前方不注視による追突事故が多く、警視庁管内全体としては、自転車乗車中の高齢者による単独事故が増加傾向にある。  
こうした現況を踏まえ、今後も当署では、「連続死亡事故ゼロ」を目指し、安全で快適な交通社会の実現のため、各種対策に取り組んでいく旨を説明した。
- 3 当署管内の犯罪抑止対策について  
本年中の指定重点犯罪発生件数は昨年同期比よりやや増加しているが、特殊詐欺及び侵入窃盗被疑者の検挙件数は向上している。最近の侵入窃盗事件において、郵便受けを物色して中に入っている鍵を使用して侵入した手口が発生している旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 管内企業との合同キャンペーンについて  
当署は、安全安心なまちづくりや交通安全を呼び掛けるため、管内企業やスパリゾートハワイアンズ・ダンシングチームの方の協力を得て、通行人の方に対し防犯・交通安全グッズを配布したり、第二方面交通機動隊のサインカーにより、交通安全や特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施した。
  - (2) JR職員による装備資器材使用訓練について  
当署術科指導員の指導により、JR職員の方に対し、突発時を想定した刺又使用訓練や、受傷事故防止のための泥酔者対応訓練を実施した。今後も管内企業等と連携した各種訓練に努めていく。
  - (3) 警視庁剣道大会について  
今年の6月30日から7月1日まで開催された警視庁剣道大会において、当署は準優勝という結果を得た。今後も、安全安心なまちづくりのため、武道を通じ、警察官としての気力、体力、精神力を養い、各種訓練に励んでいく。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
平素から管内企業との交流による防犯・交通安全の広報啓発活動や防犯指導と訓練指導を実施した旨の説明を受け、警察の方が地域住民に対して様々な取組を行っていることがいかに重要であるかよく理解できた。  
また、9月1日には、大崎警察署震災警備総合訓練、同月4日には、西大井広場公園で行われた東京都・品川区合同総合防災訓練を視察させていただき、有事の際の警察官の方の頼もしさ、そして、最終的には、警察・消防・自衛隊その他の様々な業務、職種の方の協力体制が必要ながよく分かった。  
今後も警察力の強化に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から、「五反田駅から清泉女子大学の通学路途中で、ビラを配布している人がいるが、取り締まることは可能か。また、取締りが難しい場合の対処方法を教えてほしい。」旨の意見があった。
- 2 委員から、「地域の防犯パトロールを行う際に、広報活動をしながらパトロールをしているが、その広報用のテープの内容が古いため、警察でアドバイスをしてほしい。」旨の意見があった。

い。」旨の要望があった。

その他

特になし。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。



令和04年度 第1回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年06月24日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 大崎警察署 講堂

出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 5名

内容

会議に先立ち、生活安全課長、交通課長、警備課長代理の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況について  
当署管内における交通人身事故の発生件数は、昨年に比べるとやや増加傾向にあるが、交通死亡事故にあっては「4年間ゼロ」を更新中である。  
今後もこうした現状を踏まえ、交通死亡事故「ゼロ」の継続はもとより、安全で快適な交通社会の実現を目指して、署員一丸となり各種交通対策に取り組んでいく。
- 2 当署管内における犯罪の発生状況と検挙対策について  
本年中の指定重点犯罪発生認知件数は、昨年同期比よりやや増加している。  
特に特殊詐欺や侵入窃盗事件の件数が増えているものの、検挙率は向上している。  
窃盗事件のうち手口別で、「自転車盗」と「万引き」の発生認知件数は、かなり減少しているため、今後も推進していきたい。
- 3 当署では、今後も指定重点犯罪の抑止及び交通安全対策など、これまで以上に関係機関との連携や広報活動を行い、検挙活動にも全力で取り組んでいく。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 特殊詐欺被害根絶キャンペーンについて  
当署は、特殊詐欺被害防止対策を推進中のところ、管内住民に対する被害防止のPR活動として、お笑い芸人のMr. シャチホコさんを「大崎警察署一日署長」に委嘱し、「ひろげよう 詐欺から守る 地域の輪!」をスローガンに特殊詐欺被害根絶キャンペーンを実施した。
  - (2) 春の全国交通安全運動の出動式について  
当署の春の全国交通安全運動の取組として、「大崎署死亡事故ゼロ5年連続達成」を合言葉に官民一体となり「横断 SAFETY ACTION」を推進して、管内企業の協力を得て出動式を実施した。
  - (3) 重大事案を想定した総合対策訓練について  
昨今、立て続けに発生している重大事件に対応するため、当署では、「刃物・爆発物所持・人質立て籠もり事件」発生を想定した総合対策訓練を実施した。本訓練の目的は、重大事案発生時における現場指揮体制の早期確立を主眼とし、各種装備資器材を活用した訓練を実施した。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
今回の説明で、平素から管内住民に対する警察の取組について理解ができた。  
また、重大事案を想定した訓練では、日頃からの訓練がいかに重要であるかということもよく分かった。  
今後も、管内で起こり得る事案を想定し、各種訓練に取り組んでいただき、警察力の強化に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第4回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年03月22日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 大崎警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 4名

内容

会議に先立ち、交通課長代理、警備課長代理、の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況について  
当署管内における本年中の交通人身事故の発生件数は、昨年に比べ増加しているが、交通死亡事故にあつては「4年間ゼロ」を継続中である。  
今後も死亡事故ゼロの継続はもとより、安全で快適な交通社会の実現を目指して、各種対策に取り組んでいく。
- 2 犯罪の発生状況と検挙対策について  
当署管内における本年中の指定重点犯罪発生件数は昨年同期比より増加しており、特に侵入窃盗の件数が増加傾向にある。  
今後も、手口や防犯カメラ映像の解析など、地道な捜査活動により早期に被疑者を検挙する。
- 3 前回会議で出された意見等に対する取組結果について  
「最近、個人的に虐待の相談を受けることが増えているが、実際に大崎署管内では虐待に関する110番通報や相談を何件受理しているのか教えてほしい。」との要望に対し、児童虐待に関する事案の受理状況について説明した。
- 4 信号機の無い横断歩道への看板設置について  
信号機の無い横断歩道での交通事故防止対策として、東京都交通安全協会から配布された「横断歩道注意」と記載された看板を設置したことについて説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 経済安全保障について  
経済安全保障に対する警察の取組について説明した。
  - (2) 特別点検実施について  
警視庁点検実施要綱に基づき定期的に行っている特別点検の実施について説明した。
  - (3) 短時間逮捕術訓練・拳銃緊急構え訓練実施について  
凶悪犯人による刃物使用襲撃事件に備えた、警棒使用制圧訓練、拳銃緊急構え訓練について説明した。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
今回の説明で日頃からの訓練の重要性を再認識した。  
刃物使用による切り付け事案が増加しているため、受傷事故防止には十分注意していただき、各種訓練に精励していただきたい。

[その他の意見要望等]

なし。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第3回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和04年03月08日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 大崎警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 5名

内容

会議に先立ち、地域課長、交通課長代理、警備課長代理の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況について  
当署管内における昨年中の交通人身事故の発生件数は、一昨年に比べ増加しているが、交通死亡事故にあっては「4年間ゼロ」を継続中である。  
今後も死亡事故ゼロの継続はもとより、安全で快適な交通社会の実現を目指して、各種対策に取り組んでいく。
- 2 犯罪の発生状況と検挙対策について  
当署管内における昨年中の指定重点犯罪発生件数は一昨年と同数であるが、特殊詐欺の発生が増加している。  
当署管内の特殊詐欺被害の特徴として、アポ電詐欺、還付金詐欺、キャッシュカードの詐欺盗が依然として多い状況である。  
今後も、手口や防犯カメラ映像の解析など、地道な捜査活動により早期に被疑者を検挙する。
- 3 前回会議で出された意見等に対する取組結果について
  - (1) 「自転車の横断方法に対する対策を強化してほしい。」との要望については、当署交通規制係を中心に、歩道上の街路灯に「横断危険」の看板を設置した旨を説明した。
  - (2) 「渋滞対策として、大崎郵便局交差点の信号機を時差式にするとか、歩車分離式にする等の対策をお願いしたい。」との要望については、今後も引き続き警視庁本部主管課と連携し、信号サイクルの見直し等を検討し、渋滞解消に努めていく旨を説明した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 重大事件発生を想定した総合対策訓練の実施について  
昨年中に、小田急線内、京王線内で立て続けに発生した刃物使用による刺傷事件を受け、JR五反田駅と連携し、駅構内で実施した訓練について説明した。
  - (2) 刃物使用交番襲撃対策訓練の実施について  
拳銃奪取目的の凶悪犯人による交番襲撃を想定した訓練について説明した。
- 2 警察署協議会からの意見要望等  
今回の説明で、日頃からの訓練がいかに重要であるということがよく分かった。  
今後も管内で起こり得る様々な事案を想定し、各種訓練に取り組んでいただき、警察力の強化に努めていただきたい。

[その他の意見要望等]

委員から、「最近、個人的に虐待の相談を受けることが増えており、そのような相談を受けた場合は、警察に相談するよう伝えているが、実際に大崎署管内では虐待に関する110番通報や相談を何件受理しているのか教えてほしい。」旨の要望があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和03年度 第2回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和03年10月21日 午後04時00分～午後05時15分

開催場所 大崎警察署 講堂  
出席者 協議会委員 7名  
署長ほか 5名

内容

会議に先立ち、交通課長、生活安全課長、刑事組織犯罪対策課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故発生状況等について  
当署管内における交通人身事故の発生件数は昨年に比べ増加しているが、交通死亡事故にあっては「3年間ゼロ」を継続中である。  
今後も死亡事故ゼロの継続はもとより、安全で快適な交通社会の実現を目指して、各種対策に取り組んでいく。
- 2 犯罪の発生状況と検挙対策について  
当署管内における指定重点犯罪発生件数は昨年に比べ全体では減少しているが、特殊詐欺の発生が増加している。  
特殊詐欺被害の特徴として、オレオレ詐欺、還付金詐欺、キャッシュカードの詐欺盗が依然として多い状況である。  
今後も早期検挙活動はもとより、手口や防犯カメラの解析作業など、地道な捜査活動を行い、犯人検挙に結び付けていく。
- 3 前回会議で出された意見等に対する取組結果について  
「五反田有楽街の客引き等の取締り強化をしていただきたい。」との要望については生活安全課の保安係を中心に、有楽街への見回り警戒を随時実施し、また110番通報の際は、制服警察官が早期に臨場するなどを心掛けた。  
今後も、五反田駅周辺の歓楽街の風紀を守りつつ、皆が楽しめる有楽街づくりに寄与していく。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
  - (1) 生活安全課の活動について  
ア 当署の犯罪発生概況について説明した。  
イ パワーポイントを使用し、生活安全課の活動内容について説明した。
  - (2) 特殊詐欺事件被疑者の検挙事例について  
本年、当署管内居住者の方から「本日、親族を騙る者から嘘の電話があり、詐欺かもしれない。」との110番通報があり、通報者の協力を得て、受け子の男を現行犯逮捕した。
  - (3) 重大交通事故防止対策について  
ア 通学路対策等、歩行者の安全の確保  
イ 道路環境の改善  
ウ 幹線道路等における指導取締りの強化  
以上3点について報告した。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
  - (1) 生活安全課の活動内容、検挙事例等をパワーポイントや映像を使用して説明してください、非常に分かりやすかった。  
今回の説明を受けて、管内の犯罪情勢を再認識するとともに、地道な警察活動の実態を実感することができました。  
引き続き、管内の安全、安心のために、犯罪抑止と検挙活動に取り組んでいただきたい。
  - (2) 交通の報告で道路環境の改善の中にありました、公園から横断歩道や車道への飛び出し防止対策のために設置した防護柵は非常に良い対策だと思います。  
今後も、高齢者や子供達が安心して通行できるように、道路環境の見直し、整備に取り組んでいただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 「車が渋滞していると、その間を多くの自転車が横断する。何年か前に死亡事故があり、非常に危険なので対策をお願いしたい。」

2 「専修幼稚園の方から大崎郵便局方向へ下っていくと、交差点を左折した先に高速の入り口ができた関係で左折レーンが渋滞します。横断歩道があり、左折する車が2、3台しか行けない時があるので、信号を時差式にする、歩車分離式にする等の対策をお願いしたい。」との要望があった。

その他